



平成22年9月27日

各位

上場会社名 イズミヤ株式会社
 代表者 代表取締役社長 坂田 俊博
 (コード番号 8266)
 問合せ先責任者 取締役上席執行役員 秘書・広報室長 田中 博和
 (TEL 06-6657-3310)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成22年4月6日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年3月1日～平成22年8月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	181,000	1,700	1,000	300	3.72
今回発表予想(B)	177,120	1,210	660	△90	△1.06
増減額(B-A)	△3,880	△490	△340	△390	
増減率(%)	△2.1	△28.8	△34.0	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年2月期第2四半期)	186,656	335	△279	△5,304	△65.81

平成23年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	358,000	4,300	3,000	800	9.93
今回発表予想(B)	354,000	3,200	1,900	200	2.35
増減額(B-A)	△4,000	△1,100	△1,100	△600	
増減率(%)	△1.1	△25.6	△36.7	△75.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年2月期)	368,591	2,169	933	△7,005	△86.92

平成23年2月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年3月1日～平成22年8月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	158,000	1,000	800	300	3.72
今回発表予想(B)	154,330	160	40	△290	△3.40
増減額(B-A)	△3,670	△840	△760	△590	
増減率(%)	△2.3	△84.0	△95.0	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年2月期第2四半期)	162,884	△641	△718	△4,913	△60.96

平成23年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	313,000	3,500	2,700	1,300	16.13
今回発表予想(B)	309,200	2,000	1,200	400	4.70
増減額(B-A)	△3,800	△1,500	△1,500	△900	
増減率(%)	△1.2	△42.9	△55.6	△69.2	
(ご参考)前期実績 (平成22年2月期)	322,296	666	30	△5,925	△73.52

修正の理由

当第2四半期累計期間において、6月までの天候不順や消費マインドの低下により、当社の売上高は苦戦が続きましたが、第2四半期以降に取り組んだ客数増を狙いとした販促強化と7月以降の猛暑効果もあり、売上高については回復してきております。しかしながら第1四半期の売上高の落ち込みによる荒利高減少を昨年度から取り組んできた費用構造改革による費用削減でカバーするまでにはいたりませんでした。尚、重点取組課題である店舗構造改革のモデル店導入や、商品部を中心とした業務改革の設計については着々と進めており、第3四半期よりスピードを上げて展開してまいります。

一方で、グループ各社におきましては、外販強化で収益を伸ばしている(株)デリカ・アイフーズ、(株)カンソーが当初の利益計画を上回りましたが、イズミヤカード(株)については、改正貸金業法の影響を受け減収減益となりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の連結及び個別の業績予想を修正いたします。

また、通期見通しについても、上期の業績と経営環境を踏まえ、連結及び個別の業績予想を修正いたします。

※上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上